

研究内容の説明文

説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血時に測定した血液検査値と血管迷走神経反応（VVR）の関連性に関する調査 (全血献血におけるヘモグロビン値とVVR発症についての研究)
研究期間	2022年3月13日～2024年3月31日
研究機関名	福岡県赤十字血液センター
研究責任者職氏名	所長 熊川 みどり

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

献血にともなう副作用である血管迷走神経反応（気分不良、吐き気、めまいや失神等を起こす）の原因の一つに水分の摂取不足があると考えられています。血管迷走神経反応の予防のため、献血会場で水分摂取をお願いしていますが、脱水傾向にある時には十分ではない可能性があります。血液検査の項目によっては脱水の際に上昇することが知られており、献血時の血液検査の結果から隠れた脱水を見つけることが出来れば、副作用の予防に役立つ可能性があります。

今回の検討では、献血時の血液検査の値と血管迷走神経反応の関係について調べ、得られた知見を迷走神経反応の予防に役立てることを目的としています。

2 使用する献血者の試料と情報の項目

献血者の試料の種類：献血者の情報

献血者の情報：献血年月日、献血回数、献血の種類、年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、ヘモグロビン、総蛋白、アルブミン、ヘマトクリット

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター 平田明恵

4 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター 平田明恵

5 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

2016年4月1日から2021年12月31日までに400mL全血献血を希望して福岡県内の献血会場に来場された方の中で、献血中または献血後に血管迷走神経反応を起こし、同じ期間内に2回以上全血献血をして頂いた方を選んで献血時の情報を抽出します。

血管迷走神経反応を起こした時と、起こさなかった時で血液検査値に差があるかを九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターで解析します。

献血者コード、採血番号は削除し、個人が同定されない形で解析します。

6 研究の対象とされることへの拒否について

研究の対象となる方で、この研究に情報を使用されることを希望されない方は御連絡下さい。

- 7 上記6を受け付ける方法
下記の問い合わせ先にご連絡ください。

所属	医務課
担当者	岩崎潤子
電話	092-921-1494
Mail	j-iwasaki@qc.bbc.jrc.or.jp